Q１９　友だちとのトラブルが多く、突然友だちを叩いたり、蹴ったりします

【考えられる背景】

○　コミュニケーションの力（自分の気持ちを伝える、他者の気持ちを理解する等）や状況判断が十分育っていないため、葛藤場面でいらいらする
○　自信がなく、見通しが持てないことへの不安から、自分を守るために攻撃的な態度で抵抗する
○　心理的ストレスから乱暴な行動にでてしまい、自己コントロールが難しい

【支援への手がかり】

☆　気持ちを表現できるようにする

トラブルのあと、子どもが落ち着いた状況の中で、友だちに乱暴な行為をしたときの前後の気持ちについて、流れを追って話を聞きます。上手に伝えられなくて黙ってしまったときは、「～したとき、君はいやな気持ちだったのかな？」と、推測される理由を代弁してあげましょう。

自分の気持ちについて振り返ることができると、いらいらしたりカッとなる気持ちを本人が受け止めることができるようになり、落ち着くことができます。

☆　ソーシャルスキルトレーニングを行う

友だちとのかかわりを持ちたいのにうまく表現することができず、トラブルになってしまうことがあります。例えば、遊びに入りたい時には教師が仲立ちとなり、「あそぼー、入れて」と言う練習をし、友だちと上手に接する方法を教えます。また、友だちの表情をよみとることができず、場にそぐわない行動をとってしまいがちな場合、写真やビデオ等を使って、こんな時どうしたら良いか考えたり、ロールプレイで役割を決めて行います。友だちとかかわるより良い方法を身につけ、日常生活に生かすことができるようにしましょう。

☆　行動のコントロールの仕方を具体的に教える

例えば「友だちを叩かない」という具体的で達成可能な目標を設定し、少しでもできたらほめるようにしましょう。どうしても自分の気持ちが抑えられない時は、深呼吸をしたり、数を数えたり、自分に言い聞かせることによって気持ちを落ち着かせ、行動をコントロールする力を身につけることを提案しましょう。それとともに、自分の気持ちを発散したり、伝えたりできる場所や人を見つけることも安定することにつながります。

☆　危険な行動については毅然とした態度で制止する

周囲へ危険が及ぶ行為をしたとき等、危ないことは危ない、いけないことはいけないと指導します。ただし、子どもが受け入れやすい形で、注意の仕方を工夫しましょう。